

## 中期経営計画重点推進事業の評価手法に係る体系的な検討状況

基本目標	主要施策	重点推進事業	20年度事業評価のアウトカム指標	同系事業の括りによる新たなアウトカム指標の考え方	備考	
より良質な水をいつでも安心して利用できる水道	(1)安定給水の確保	1.(長期)水需要見通し(策定)	配水計画への反映状況	-	(事業終了)要フォローアップ	
		2.上下交流事業(ダム建設支援)	安定水源の確保	-	(事業終了)	
		3.ちば野菊の里浄水場建設	浄水場施設更新率	浄給水場の整備更新率など	「今後の進め方」の評価方法を改善	
		4.房導系浄水場整備	基本計画の検討	同上		
		5.船給リニューアル	配水池耐震施設率			
		6.栗山浄水場老朽化更新	浄水場等施設耐震化率			
		7.浄水場設備更新	経年化設備率			
		8.八～五線布設	バックアップ可能区域人口			
		9.鋳鉄管更新	管路の事故割合	送配水管の整備更新率など		
		10配水区域細分化	給水人口/区域数	-		
		11水運用センター設置	水運用情報の共有化	-	(事業終了)要フォローアップ	
	(2)安全で良質な水の供給	12 おいしい水づくり計画 残留塩素の低減化 管路の維持管理強化 貯水槽水道適正管理	おいしい水の回答割合	水質基準適合度など		
			塩素臭感じない割合			
			水質苦情(赤水)件数		(アンケートの取り方等を)検討中	
直結給水比率						
飲み水としての満足度						
(3)環境保全の推進	13太陽光・マイコ発電 14省エネ推進 15再資源化推進	導入への基礎データ取得				
		導入への基礎データ取得		(量より質の成果指標を)検討中		
		宅地内漏水件数				
経営基盤の強化	(4)経営の効率化の推進	16組織・職員数計画的な管理	購入電力削減率	CO2削減効果、資源再生率など	(事業終了)要フォローアップ	
		17事務経費・工事コスト削減	購入電力削減率			
		18民間委託の拡大	浄水場発生土有効利用			
		19PFI導入				
	(5)経営体質の強化	20経営分析の活用	人件費			
		21情報化の推進(システム構築)	事務経費・工事コスト削減	総コスト削減効果など		
		22料金体系の研究	コスト削減効果			
(6)技術の継承	24水道技術研修	コスト削減効果				
		23将来の経営形態	次期計画等検討への活用			
		25水道技術研修	研修者理解度・満足度		(客観的成果指標を)検討中	
より一層信頼される水道	(7)人材育成の充実	25職員能力向上	研修者理解度・満足度		(客観的成果指標を)検討中	
		26宅地内鉛管更新助成制度	新制度の要項検討			
	(8)給水サービスの充実	27未普及地区普及促進	給水普及率			
		28収納形態の多様化 29日曜等の現地精算 30接客マナー向上 31バリアフリー化整備	多様化の検討	料金収納形態の充実度など	(事業終了)	
			利用者数		(事業終了)要フォローアップ	
	苦情割合					
	(9)窓口サービスの充実	31バリアフリー化整備	見学者割合		(客観的成果指標を)検討中	
		(10)情報サービスの充実	32広報ビデオ活用	ビデオ視聴者数		
			33HPの充実	アクセス件数	情報サービスの充実度など	(事業終了)要フォローアップ
	34モバイルHP開設		アクセス件数		(事業終了)要フォローアップ	
(11)相談等広聴サービスの充実	35お客様満足度アンケート	情報収集割合				
(12)情報セキュリティの充実	36情報漏洩防止対策	情報漏洩件数				
地震等の非常時にも強い水道	(13)危機管理体制の充実	37危機管理体制強化	実効性のある管理体制	危機管理システムの充実度など	(事業終了)要フォローアップ	
		38非常時職員参集管理システム整備	訓練メール応答率		(事業終了)要フォローアップ	
		39被害情報収集システム整備	訓練システム返信率		(系統立て、大きな視点で評価を)検討中	
		40危機管理用備品整備	非常時用備蓄の整備			
		41自家発電設備整備	正常作働率	非常時対応設備の充実など		
		42防災行政無線整備	箇所数		(事業終了)要フォローアップ	
		43各種情報通信手段有効活用	情報伝達率		(事業終了)要フォローアップ	
		44市村との連携強化	役割分担の明確化			
		45各種訓練実施	訓練マニュアル改善			
		(14)震災・濁水等対策の推進	46千葉分場地下水活用	(達成済み)		(事業終了)
	47企業団との相互融通		基本計画の策定	緊急時相互支援体制充実度など		
	48印旛(組)緊急連絡網		緊急時安定給水度			
		49機場間バックアップ体制整備	緊急時安定給水度		(「達成」、「成果」評価と進め方の整合性)検討中	
50庁舎耐震整備		(整備完了)		(事業終了)		
51浄給水場耐震整備		浄水場等施設耐震化率	施設の耐震化率など	事業費への評価を実績進捗率に置き換える		
52管路耐震整備		管路耐震化率		外的な事業遅延要因を考慮する		

評価委員指摘有り(計画進行中のもの)

指摘事項及び改善の検討状況は備考欄参照

(事業終了)

評価委員の指摘有り(事業終了のもの)

事業終了により、フォローアップにて事後検証的な評価を行う